

# ついに完成！こだわりの味噌 「がまだす味噌」



今年の3月に加工所で行った味噌の仕込から約8ヶ月、ついにこだわりの味噌が完成しました。自分たちで育てた無農薬の大豆で、米麴も鯉農法から作ったうぶやま産、塩は天草の通詞島で天日干しされた塩を使ったこだわりの味噌づくり。9月、味噌の出来具合を確かめるためさわやかグループの面々が集まりました。（一文削除）天日塩で濃度10%、13%の味噌、普通の塩13%の味噌の3種類の味を早速確かめ、「まだ麴が硬い。もう少しねかせたほうがいい」と話したあの日からついに完成。11月20日、再び集まったメンバーで味を確認、市販の味噌と食べ比べパンチのある納得のいく出来となったようです。26日わが子のように大事に味噌を袋詰めするメンバー達。原料も工程もこだわってつくった味噌はいよいよ12月、販売を開始します。注文やお問い合わせは役場経済建設課までご連絡ください。

## 熊本県PTA研究会 第35回熊本県PTA研究会

第35回熊本県PTA研究会が「がまだすPTA」すべては大切な命のため「く」をスローガンに11月10日阿蘇市で開催されました。

午前中5分科会場に分かれ、家庭教育のあり方、環境学習、地域との連携などさまざまなテーマで実践報告や討議が行われ、それぞれの会場につめかけた参加者は熱心に耳を傾けていました。

午後の記念講演では格闘家の角田信朗さんが「がまだすPTA」と題して、今までの活動を振り返りながら語りかけ、参加者は軽快なトークに

聞き入っていました。

午前の第5分科会では、「くまもと教育の日」阿蘇フォーラムと併せて行われ、「つなぐ」子どもの思い、親の思い、教師の思い、地域の思いをテーマに実践発表が行われました。オープニングでは、産山中1年の片山紗雪さんが「ゆみ、ねえねはね」（第29回「少年の主張」熊本県大会優秀賞作品）という題で「命の大切さ」について発表しました。実践発表では、産山村から「子どもたちに居場所を」という題で、放課後子どもプランコーナーの森本由

美子さんが発表されました。

これは、産山村が文部科学省の補助事業である「放課後子ども教室推進事業」に本年度より取り組んでいることから、産山小学校の施設を活用しながら、学習活動や様々な体験活動をおして、子どもたちの自主性・主体性などの「生きる力」の育成に取り組みんでいる様子を発表されました。

また、森本さんは11月26日、県立劇場で一、一〇〇人の参加者を集め行われた「創造！生きる力」実践発表会でも発表され好評を得ています。

## ありがとうございました！ 寄付金により本を購入しました

11月22日、小学校メディアセンターで「図書贈呈式」が行われました。これは、春の褒章で「瑞宝双光章」を受賞された森本義之助様が、受賞を記念してご寄付をいただき、小中学校用の図書が購入されたことにより行われたものです。この日、小中学校全児童生徒が参加し、森本さんから小中学校を代表して中学3年の井大樹君に本が手わたされ、小学6年の志賀優紀さんが「本に親しみ大切に読んでいきたい」とお礼の言葉をのべました。

また、森本さんは「たくさん本を読んで立派な人になってほしい」と笑顔で話されました。

購入した本は、調べ学習や、自分の興味や知識を深めるために、素晴らしい本ばかりで、おおぜいの子どもたちに、たくさん読んでもらい、また、大切に使用してもらいたいと思います。

### ●贈呈された図書の紹介

- ・ポプラディア 情報館 全21巻
- ・体験取材！世界の国ぐに 第1期・第2期 全22巻
- ・人物・遺産でさぐる日本の歴史 全16巻
- ・きみもやってみよう 国際協力 全6巻
- ・ニューワイド学研の図鑑 全18巻

